

《記載要領》

別紙1 特定施設の構造

(NO.)

特定施設の 種類	今回申請に係る特定施設の番号・種類	例：No.71 自動式車輛洗淨施設
型式	製造元、機械の型式及び全自動・半自動・手動の別又は○○式等	例：○○社製○○型 全自動
構造	鋼鉄製・鋳鉄製・コンクリート製・塩ビ製等本体の主要構造の種類を記入	例：鉄製
主要寸法	設置する施設本体の寸法を記入	縦 × 横 × 高さ ○m × ○m × ○m
能力	当該施設的能力を記入	○○kg/日
数量	同一形式の設置台数を記入	○基
その他 参考事項	施設の構造について参考になる事項を記入する	
	工事着手予定年月日 ○年 ○月 ○日	工事完成予定年月日 ○年 ○月 ○日
		使用開始予定年月日 ○年 ○月 ○日
※ 添付 書類	○ 当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置図 ○ 特定施設、汚水等の処理施設の設置場所、排出口の位置、敷地内における排水経路 ○ 案内図	

※添付書類の大きさは可能な限り日本工業規格A4とすること。

《 記載要領 》

別紙2 特定施設の使用の方法（その1）

（NO. ）

特定施設の 種 類	別紙1の施設に対応					
使用時間 間 隔	使用時間を記入 ○○時～○○時			例：8時～17時		
一日あたり の使用時間	○○時間又は1日○回と記入			例：1日4回 4時間		
季節的変動	上記の使用方法について、季節変動がある場合は記入			例：4月～10月 3時間/日 11月～3月 5時間/日		
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	※ 使用原材料の種類	使用 方法	1日当たりの 使用量	※ 使用原材料の種類	使用 方法	1日当たりの 使用量
	特定施設を含む作業において、 使用する原材料を記入する。			塩素	酸洗い	○○kg
				水酸化ナトリウム	脂質	○○kg
				・	・	・
				・	・	・
				・	・	・

※使用原材料については商品名だけでなく成分名についても記入すること。

（成分表を添付してもよい。）

《記載要領》

別紙3 特定施設の使用の方法(その2)

(NO.)

特定施設の種類		別紙1の施設に対応		通常値	最大値	
		通常値	最大値			
生活環境の保全に係る項目	生	pH			7.0~7.5	6.0~9.0
	環	B O D	関係する排水基準項目、汚水量について記載する。		30	60
	境	C O D				
	の	S S			50	100
	保	ノルマルヘキサン化合物(鉱油類)				
	全	ノルマルヘキサン化合物(動植物油脂)			5	10
	に	フェノール類				
	係	銅				
	る	亜鉛				
	項	溶解性鉄				
	目	溶解性マンガン				
		総クロム				
		大腸菌群数				
		窒素				
		リン				
水の健康の水質に係る項目	人	カドミウム及びその化合物				
	の	シアン化合物				
	健	有機リン化合物				
	康	鉛及びその化合物				
	の	六価クロム化合物				
	水	砒素及びその化合物				
	保	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				
	質	アルキル水銀化合物				
	に	P C B				
	係	トリクロロエチレン				
	る	テトラクロロエチレン				
	項	ジクロロメタン				
	目	四塩化炭素				
		1, 2-ジクロロエタン				
		1, 1-ジクロロエチレン				
		シス-1, 3-ジクロロプロペン				
		1, 1, 1-トリクロロエタン				
		1, 1, 2-トリクロロエタン				
		1, 3-ジクロロプロペン				
		チウラム				
	シマジン					
	チオベンカルブ					
	ベンゼン					
	セレン					
	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素					
	ほう素					
	ふっ素					
	1, 4-ジオキサン					
	ダイオキシン類					
汚水量 (m ³ /日)					20	40
その他の参考事項						

※ 単位:PH[無単位]、大腸菌群数[個/ℓ]、その他の項目[mg/ℓ]

《 記 載 要 領 》

別紙 4 汚水等の処理の方法（その 1）

（NO. ）

処理施設の種類	生物処理、物理化学的処理等、 処理の大別を記載	例：物理化学的処理
処 理 の 方 式	中和処理、凝集沈殿、加圧浮上、 酸化還元等の別を記載	例：中和、凝集沈殿法
型 式	自動、半自動、手動の別メーカ 一の呼称等施設の形式を記載	例：〇〇製 〇〇型 自動
構 造	コンクリート製・鉄製・FRP 製、地下式等構造の概要を記載	例：塩ビ製 地上式
主 要 寸 法	縦 × 横 × 高さ (〇m × 〇m × 〇m) 又は〇m ³ と記載	例：(縦×横×高さ) 10m × 5m × 1.5m
能 力	処理水量〇m ³ /日、〇m ³ /時間 帯等、処理能力を記載	例：150 m ³ /日
集 水 及 び 導 水 方 法	汚水等の集水及び処理施設まで の導水方法を記載	例：塩ビ配管
使用時間間隔	連続、〇時～〇時、1日〇回等 と記載	例：8時～17時
1日当たりの 導水時間	連続、〇時～〇時、1日〇回・ 〇時間等と記載	例：1日4回・5時間
季節的変動	使用方法に季節変動がある場合 記載	例：4月～10月 8時間 11月～3月 6時間
消耗資材の 1日当たりの 用途別使用量	中和、凝集、酸化等、反応用と 別に1日あたりの使用量を記載	例： 水酸化ナトリウム 1.5 kg 塩酸 1.0 kg 高分子凝集財 0.7 kg

《記載要領》

別紙5 汚水等の処理の方法 (その2)

(NO.)

処理施設の種類		物理化学的処理		物理化学的処理	
		処 理 前		処 理 後	
		通常値	最大値	通常値	最大値
生活環境の保全に係る項目	pH	7.0~7.5	6.0~9.0	7.0	7.0
	B O D	30	60	10	20
	C O D				
	S S	50	100	10	20
	ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)				
	ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂)	5	10	2	5
	フェノール類				
	銅				
	亜鉛				
	溶解性鉄	関係する排水基準項目、汚水量について記載する。			
	溶解性マンガン				
	総クロム				
	大腸菌群数				
	窒素				
	リン				
水の健康の保護に係る項目	カドミウム及びその化合物				
	シアン化合物				
	有機リン化合物				
	鉛及びその化合物				
	六価クロム化合物				
	砒素及びその化合物				
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				
	アルキル水銀化合物				
	P C B				
	トリクロロエチレン				
	テトラクロロエチレン				
	ジクロロメタン				
	四塩化炭素				
	1, 2-ジクロロエタン				
	1, 1-ジクロロエチレン				
	シス-1, 3-ジクロロプロペン				
	1, 1, 1-トリクロロエタン				
	1, 1, 2-トリクロロエタン				
	1, 3-ジクロロプロペン				
	チウラム				
	シマジン				
	チオベンカルブ				
	ベンゼン				
セレン					
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素					
ほう素					
ふっ素					
1, 4-ジオキサン					
ダイオキシン類					
汚水量 (m ³ /日)		20	40	20	40
汚水等の処理の系統 (各系統の水量も記入すること)		汚水等の処理について、処理に従い、フローシート、使用薬品、水量等を記載。(別添としても可)			

※ 単位:PH[無単位]、大腸菌群数[個/ℓ]、その他の項目[mg/ℓ]

《記載要領》

別紙6 汚水等の処理方法(その3)

処理施設の種類	別紙4の処理施設に対応して記載		例:物理化学的処理
処理残さの種類	汚水等の種類によって生ずる残さの種類を記載		例:スラッジ
1月間の種類別生成量	上記残さの種類別生産量を記載		例:スラッジ 3kg
処理残さの処理方法の概要	売却、焼却、埋立等処理方法を記載 業者委託の場合は、業者名も記載		例:業者委託 収集運搬 〇〇市〇〇町〇〇 (株)〇〇 中間処理 〇〇市〇〇町〇〇 (株)〇〇
その他参考事項	汚水との処理方法について、参考となる事項を記入		
排水水の排水の方法	排出の方法 (○でかこむこと)	公共用水域に放流 <u>公共下水道接続</u>	循環使用 その他()
	排出口の数	排水口数を記載	
	排出先	公共用水域に放流の場合の排水先	
工事着手予定年月日 〇〇 . 〇〇 . 〇〇		工事完成予定年月日 〇〇 . 〇〇 . 〇〇	使用開始予定年月日 〇〇 . 〇〇 . 〇〇

《記載要領》

別紙7 排出水の汚染状態及び量・用水及び排水の系統

(NO.)

排水口別		工程別又は地点別などにより、排水口を明示する。		例：総合排水口	
		通常値	最大値	通常値	最大値
生活環境の保全に係る項目	pH			6.5~7.5	6.0~8.0
	B O D	排水口ごとの排出水の水質について通常値、最大値を記入。		10	12
	C O D				
	S S			20	30
	ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)				
	ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂)			3	5
	フェノール類				
	銅				
	亜鉛				
	溶解性鉄				
	溶解性マンガン				
	総クロム				
	大腸菌群数				
	窒素				
	燐				
人の健康の水質に関する項目	カドミウム及びその化合物				
	シアン化合物				
	有機燐化合物				
	鉛及びその化合物				
	六価クロム化合物				
	砒素及びその化合物				
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				
	アルキル水銀化合物				
	P C B				
	トリクロロエチレン				
	テトラクロロエチレン				
	ジクロロメタン				
	四塩化炭素				
	1, 2-ジクロロエタン				
	1, 1-ジクロロエチレン				
	シス-1, 3-ジクロロプロペン				
	1, 1, 1-トリクロロエタン				
	1, 1, 2-トリクロロエタン				
	1, 3-ジクロロプロペン				
	チウラム				
	シマジン				
	チオベンカルブ				
	ベンゼン				
セレン					
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素					
ほう素					
ふっ素					
1, 4-ジオキサン					
ダイオキシン類					
汚水量 (m ³ /日)				30	60
用水及び排水の系統 (各系統の水量も記入すること)		用水及び排水の系統については、図化し、用途別用水量を附記する。(別紙を添付しても可)			

※ 単位: PH[無単位]、大腸菌群数[個/ℓ]、その他の項目[mg/ℓ]